

階層別選択研修（共同）

研修名	主幹・副課長・課長補佐級		受講者の声	
	議会答弁・報道機関対応			元自治体職員ということもあり、実務経験上の話を織り交ぜた説明は非常に興味深く聞くことができました。また、具体的な事例や演習が多いなど、研修内容をより理解しやすくする工夫がされていました。
講師	一般社団法人 日本経営協会 もり たけし 森 健		期 間	2日間
			会 場	自治人材開発センター
			予 定 人 員	県30人・市町村50人
ねらい	管理職職員にあつては、議会・報道機関に対して適切に説明責任を果たしていくことが重要です。本研修では、議会・報道機関と接する際の基本的な姿勢を理解するとともに、答弁書作成や説明のポイントなどを理論的かつ体験的に学びます。			
対象者	【県】令和4年4月1日現在、主幹級及び副課長級の職に昇任後1年以上経過している職員（受講を希望する課長級職員を含む） 【市町村】課長補佐級以上の職員			
実施日	① 7月19日（火）・20日（水）（県15人・市町村25人） ② 10月17日（月）・18日（火）（県15人・市町村25人）			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	議会運営の全体構造	6	25	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体における議会とは ・議会の組織・権限 ・議会の招集と会議の運営 ・行政の説明責任と議会対応 ・答弁書作成準備としての情報収集 ・答弁書作成の実践ポイント ・「彩の国市」「彩の国県」を舞台に、それぞれの立場で一般質問に対する答弁書作成演習を実施 ・初日のまとめと質疑応答
	答弁書作成の実践ポイント			
	答弁書作成演習			
まとめ・質疑応答				
2日 9:00 ～ 16:30	行政の説明責任と報道機関	6	25	<ul style="list-style-type: none"> ・平時の報道機関との関係 ・有事の関係（危機管理広報） ・記事にしてもらう ・記者との信頼関係構築 ・広報部門との連携 ・危機管理広報の基本 ・記者会見の設定 ・各部門共通の対応（事例に学ぶ報道機関対応） ・ケーススタディ：危機管理について考える ・自治体で不祥事が発生したという設定で緊急記者会見演習を実施 ・補足講義（報道機関ごとの特性と対応方法） ・総括講義と質疑応答
	平時における報道機関対応			
	有事における報道機関対応			
	緊急記者会見演習			
	総括講義・質疑応答			
	講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村研修コード NO. 166～167 ・全2回実施 			